

展示ブース

テーマ及び目的

団体名	テーマ（タイトル）	目的
国連開発計画 (UNDP)	アフリカ×日本 ×UNDP：共に切り拓く 持続可能な未来	UNDPアフリカ局が掲げる、6つのStrategic Impact Areas、天然資源の効果的なガバナンス、若者と女性のエンパワーメント、構造改革、気候変動対策、持続可能なエネルギーへのアクセス、平和と安全などを柱とし、アフリカと共にSDGsの達成を目指す。
ササカワ・アフリカ財団	アフリカの農業変革への 取り組み－農家と共に 歩んで－	アフリカにおける「環境再生型農業」「栄養に配慮した農業」「市場志向型農業」の推進を通じた農業普及システムの強化により、強靱で持続可能なフードシステムの構築を実現する。
内閣官房 (健康・医療 戦略室)	アフリカにおける保健課題 の解決に向けて －アフリカ健康構想とグ ローバルヘルス戦略による アプローチ－	基礎的なインフラの整備や、公衆衛生への理解増進、栄養教育等、地域特性を踏まえ、相手国政府とも連携しながら、公的セクターによる支援と自律的な民間の産業活動との多角的な開発システムの形成を通じて、アフリカにおける保健課題の解決を目指す。
財務省	アフリカの民間セクター開 発支援 (EPSA)	日本とAfDBとの共同で3年間 (2023-2025年)に最大50億ドルのアフリカ向け資金協力を行い、電力、連結性、保健、農業・栄養を重点分野として支援していく。
国際協力機構 (JICA)	TICAD30年とJICAア フリカ協力の歩み～JICA stands with Africa～	TICADの枠組みの下で推進してきたJICAのアフリカ協力を踏まえ、新しい時代へ踏み出しているアフリカにとって、今後もJICAは信頼できるパートナーとして協力を継続・深化させていく。
文部科学省	日本型教育の海外展開 (EDU-Portニッポン)	TICAD参加国・地域の人々の日本型教育に対する関心を高め、日本の人々の教育分野における海外展開をさらに強化していく。
国土交通省	アフリカへのインフラ分野で の協力推進	包摂性・持続可能性・強靱性を兼ね備えた「質の高いインフラ」の重要性についての理解を促進し、我が国企業の持つ「質の高いインフラ」技術を導入することで、アフリカ経済の更なる発展に貢献する。
経済産業省 /JETRO	アフリカとつながる。ともに、 一歩先へ	アフリカ市場の情報提供からアフリカ企業との商談機会の提供に至るまで、あらゆる場面で日本企業の活動を支援することで、未踏のフィールドにビジネスの礎を創りあげる。
農林水産省	食料の安全保障強化に 向けたアフリカ農業イノ ベーション	アフリカでの食料需給の逼迫に対応するためには、食料生産性の向上や持続可能な農業システムの構築が求められる。デジタル技術を活用した農業プラットフォームの導入により、次世代型農業を推進し、食料の安全保障強化に貢献する。
環境省	アフリカの脱炭素移行、きれいな街と健康な暮らしの実現に向けて	官民の投資促進と優れた環境技術や優良な取組事例等の活用により、アフリカにおける脱炭素移行ときれいな街と健康な暮らしを実現する。
総務省	ICTの活用によるアフリカ の課題解決への貢献	総合的なICT開発能力を持つ日本のICTソリューションや通信インフラを活用した多面的な支援を通じ、アフリカ地域のさまざまな課題解決に貢献する。
横浜市	横浜とTICAD：15年間 の歩み	日本で「アフリカに一番近い都市・横浜」として今後もアフリカ各国との交流や協力事業を継続し、世界から集いつながる国際都市の実現を目指す。